

令和5年度 第2回石川県地域医療対策協議会 協議結果

日時：令和5年12月19日（火） 18:00～19:50

場所：石川県庁行政庁舎14階 1408会議室

<協議事項：第8次石川県医療計画（医師及び医療従事者の確保に関する事項）>

○医師及び医療従事者の確保について、事務局より協議資料に沿って説明があった。

○各構成員より、主に、次のような意見が述べられた。

[医師]

- ・医学生のカリヤ形成支援については、支援後のフォローアップが重要である。
- ・10万人あたりの医療施設従事医師数が全国値を下回る救急科や、ニーズが高い総合診療科について、計画に盛り込むと良い
- ・全国の医学部に進学している本県出身者への奨学金制度を検討してはどうか。

[歯科医師]

- ・歯科医師数、歯科医師の高齢化、後継者問題の解決に向け、関係者間で丁寧に話を進めていきたい。

[薬剤師]

- ・病院薬剤師と薬局薬剤師の偏在については、初任給の格差等が要因となっている。
- ・地域偏在については、指導薬剤師が大学病院・基幹病院に偏っていることが要因となっている。
- ・それらの偏在を、石川県地域連携薬剤師共育プログラムや修学資金の返済支援により、解決していきたい。

[看護職員]

- ・数と質の両面から、施策を丁寧にやっていく必要がある。
- ・県内で養成した看護職員が県内に定着すること、いま働いている職員が辞めないこと、休業している間にスキルが落ちないようにすること、仕事が続けられるような環境を整えていくことが重要である。
- ・夜勤を避けるために病院を辞め、訪問看護や高齢者施設等を選ぶ流れができてきている。
- ・男女共同参画や働き方改革等によって、男女ともに子育て等に参画できるようになれば、夜勤を含めいろいろな働き方がもっと可能になると思う。

○上記の意見を参考に、医療計画本文素案について修正が必要な場合は、事務局において修正し、修正内容は議長一任とすることとされた。